

■ 観天望 (編集委員会から)

編集委員長 石垣 (20期)

モミジ・カエデ

秋の山で美しいと言えれば紅葉です。「紅葉」と書いて「モミジ」と読むくらいモミジは紅葉の代表格です。では、モミジとカエデはどこが違うのでしょうか？ 素人の私には同じようにしか見えません。そこで、今回はモミジ・カエデの小自由研究です。

植物学的にはモミジとカエデは両方ともムクロジ科カエデ属であり、世界では全て「カエデ」、英語では「maple」と呼びます。メープルシロップのメープルです。有名なカエデと言えればカナダ国旗のサトウカエデ (Sugar maple)を思い出しますよね。何とモミジとカエデを分けて呼ぶのは日本くらいのようなのです。ビックリです。盆栽界では葉の切れ込みが深いものがモミジ、浅いものがカエデとされているそうですが、実は明確な違いはないそうです。

モミジは、秋の草木が黄色や赤色に変わることを意味する動詞「もみづ」に由来し、それが名詞の「もみぢ」になり、それが転じて、特に目立って色を変えるカエデの一部を「モミジ」と呼ぶようになったそうです。カエデは、葉の形がカエルの手に似ているので「かへるで」、それが「カエデ」となったようです。

モミジの名前の由来の方が美しいですね。モミジを分けて呼ぶのは、紅葉を楽しむ日本的な美意識に関係しているかもしれません。それを意識すると、紅葉は更に味わい深く見える・・・ように思えます。今秋は紅葉狩りにでも行こうかな、やはり酒を片手に！

OB会員の皆様、コロナ禍ではありますが、健康で良い年をお迎えください。

